兵庫医科大学医学会雑誌投稿および執筆規定

A．投稿規定

兵庫医科大学（以下，「本学）という）における医学およびこの関連分野の学問の進展に寄与することを目的として，兵庫医科大学医学会雑誌（ACTA MEDICA HYOGOENSIA：略称，兵医大医会誌，ACTA MED. HYOGO.）を発行する．発行に際し，投稿規定に係る規定を以下に定める．

1．投稿資格

筆頭著者は本医学会々員に限るものとする．ただし，兵庫医科大学医学研究科学生についてはこの限りでない．

2．原稿の種類

学術論著（総説，原著，症例，短報，研究資料を含む）で他誌に発表されていないもの，本医学会が主催する学術集会の講演要旨（以下講演要旨と記載する），ならびに運営委員会が依頼した論文を掲載する．

3．倫理的配慮

人を対象とする研究については，ヘルシンキ宣言の趣旨にそって倫理的な問題に十分配慮して行われたものであることを要件とし，倫理的配慮を行った旨を本文中に明記すること．「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の対象となる研究については，倫理審査委員会で承認を得たものであることを要件とし，その旨を本文中に併せて明記すること．動物を用いた研究については，カルタヘナ法を含めた実験動物関係法令等を遵守し，動物愛護の精神に則り行ったもので，動物実験委員会の審査を経て学長の承認を得たものであることを要件とし，その旨を本文中に明記すること．

4．利益相反

利益相反の有無にかかわらず，それを本文中に明記すること．

5．投稿方法

投稿は原稿に，「投稿申込書」および「著作権譲渡同意書」，「審査承認確認書」をそれぞれPDFファイルに変換し，指定されたメールアドレスへメールの添付により提出する．また，英語論文の投稿については，「投稿論文の剽窃に係る届出書」を併せて提出する．

6．原稿の受付および審査

1）投稿原稿は提出前に指導教授の校閲を得ておく．
2）原稿の受付日は，投稿原稿が所定の手続きに従っていることを確認した時点を持って受付日とする．
3）運営委員会は投稿原稿について審査し，その採否を決定する．原著，症例，総説は，運営委員長が指名した２名の査読委員が審査する．短報，研究資料は，運営委員長が指名した１名の査読委員または運営委員長が審査する．ただし，依頼した原稿については，原則審査しない．
4）掲載原稿は原則として返却しない．
5）本誌の編集は兵庫医科大学医学会運営委員会が行う．

7．著作権

1）医学会雑誌に掲載された原稿の著作権は，兵庫医科大学医学会に帰属する．また，委嘱された著作権には複製権，公衆送信権を含むものとし，インターネットによる利用は，兵庫医科大学医学会が許諾したWebサイトとする．
2）原稿等に第三者の著作物（図版，図表等）が含まれる場合，著作権に関わる問題や法令上の手続きは著者があらかじめ処理するものとする．それらについて問題が生じた場合は，その責は著者が行うものとする．

8．原稿の執筆方法

原稿の執筆に関する必要事項は，別に定める．

Presented by Medical*Online

B．執筆規定

1．提出原稿

原稿は和文または英文とする．英文原稿および和文原稿の英文（抄録，図表の表題，注解）については，投稿前にnative speakerまたは専門家の校閲を受ける．

1）和文原稿

①和文抄録以外に英文抄録を添付し，図表の表題，注解は英文または和文のどちらかに統一する．

②原稿は汎用の文書作成ソフトを使用し，A 4 用紙に文字サイズ12ポイント，ダブルスペースとする．

2）英文原稿

①A 4 用紙に文字サイズ12ポイントとして，Times New RomanとSymbolの英文フォントを使用して，左詰め，ダブルスペースとする．

②その他の執筆規定については，1）和文原稿に準じる．

2．記載順序

次の順序に従って記載する．

①～⑦は巻末の表紙形式を参考に，原稿第１頁（表紙）に記載し，⑧，⑨は次頁以降に記載する．英語原稿の表紙は①～③を省いて記載する．

① 和文表題
② 著者氏名
③ 所属機関（共著者の所属が異なるときは右肩に番号を片括弧で記入して区別する）
④ 英文表題（前置詞，接続詞，冠詞を除く各語の最初の文字は大文字）
⑤ 著者ロ－マ字名（例：Taro YAMADA）
⑥ 英文名所属機関および所在地
例：(1st Department of Internal Medicine, Hyogo Medical University, 1-1 Mukogawa-cho, Nishinomiya, HYOGO 663-8501, JAPAN)
⑦ 省略表題（スペ－ス含めて和文20字以内，英文40字以内）
⑧ 脚注(1) Corresponding author（該当する著者名の右肩に*を印す）
脚注(2) 省略用語表
⑨ 1）和文抄録および英文抄録
2）Key words（日本語および英語それぞれ５語以内）
⑩ 本文
⑪ 文献
⑫ 表（Table）
⑬ 図（Figure）

3．本文の構成

原著は原則として次の順序に従って記載する．原著以外の学術論著は必ずしもこの様式に従わなくてもよいが，①，④，⑥については，原著に準じることが望ましい．

① 緒言（文中に「緒言」と記載しなくてもよい）
② 材料と方法
③ 結果（成績）
④ 考察（考案）
⑤ 謝辞
⑥ 文献

4．原稿の頁数，文字数等

原稿の長さを次のように制限する．ただし，運営委員会の承認を得たときはこの限りでない．なお，刷上り１頁の字数および語数は，和文は1800～2000字程度，英文は700語程度となる．

	図表を含む刷り上がり頁数	和文抄録字数	英文抄録語数
総説	27 頁以内	1000 字以内	250 語以内
原著	13 頁以内	800 字以内	200 語以内
症例・研究資料	6 頁以内	600 字以内	150 語以内
短報・講演要旨	4 頁以内	400 字以内	100 語以内

Presented by Medical*Online

5．本　文

1）常用漢字，新かなづかいを用いる．ただし，専門用語についてはこの限りではない．（かなづかい等については，事務局において訂正することがある）

2）外国の人名，地名はローマ字で書く．ただし，中国など漢字を用いている場合はこの限りではない．なお，国名は外務省の指定によるものとする．（例：毛沢東，アメリカ，イギリス）

3）動植物，細菌類などの学名をローマ字で書くときは，イタリック印刷を明示するためにローマ字にアンダーラインを引く．常用されるラテン語（in vitro, in vivo, etc., et al. など）はイタリックにしない．

4）外来語は可能な限りカタカナを用いる．慣用化されていないと考えられる場合は，最初に原語を記載する．

5）動植物の日本名は原則としてカタカナで書く．
（例：ヒト，サル，ウサギ，エンドウ，ムラサキツユクサ）（例外：日本住血吸虫，鉤虫など）

6）化学薬品，器具類，操作方法などで日本語がない場合は原則としてローマ字で書く．ただし，慣用化されているものは日本語で書く．（例：塩酸，水酸化ナトリウム）

7）試薬については，会社名，所在地を記載する．

8）和文原稿中の外国語の字体は規約，慣行に従い，特に必要がない限り小文字体で記載する．ただし，文頭の頭文字は大文字とする．

9）数字は成語（十数種の，二三の）とし，それ以外はアラビア数字を用いる．

10）単位はメートル法（国際単位系）を用いる．数値はなるべく１から1000の間とし，倍量の接頭語を用いることが望ましい．

倍量の接頭語：10^{18}（エクサＥ），10^{15}（ペタＰ），10^{12}（テラＴ），10^{9}（ギガＧ），10^{6}（メガM），
10^{3}（キロｋ），10^{-3}（ミリｍ），10^{-6}（マイクロμ），10^{-9}（ナノｎ），10^{-12}（ピコｐ），
10^{-15}（フェムトｆ），10^{-18}（アトａ）

上記以外の倍量接頭語10^{2}（ヘクトｈ），10^{-1}（デシｄ），10^{-2}（センチｃ），などは特殊な場合（例：db）を除き，使用しないことが望ましい．

組単位が積の形である場合は，Nmとし，除数の場合はmg/l, mg/Lまたはmg l^{-1}, mg L^{-1}とする．

単位記号は国際単位系（SI）の使用を原則とするが，各分野設定の単位記号を使用してよい．書体はローマンとする．記号のあとには句点（ピリオド）はつけない．

km, m, mm, μm, nm, pm, mm^3, l, ml, μl, kg, g, mg, μg など．

（参考：国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター /「国際単位系(SI)文書第9版（2019)日本語版」）

その他については，医学会事務局へ問い合わせること．

11）専門分野で承認されている省略記号以外は用語の省略をさける．省略記号を用いるときは，あらかじめ原語を明示しておく．

12）文中でくり返し使用される語は略語を用いてもよいが，最初に正しい用語を用い（　）に略語を明記しておく．また，省略語は，あらかじめ脚注⑧(2)に明記する．ただし，表題，抄録では省略語は使用しない．

13）句読点として，(，　.）を正確につける．

6．図および表

1）図および表の原稿は別紙を用いる．英文を使用する場合，表題および図表中の用語の最初の語の頭文字だけを大文字にする．

2）図版はそのまま製版できるように２～３倍大に正確に書く．

3）図版の下段に図（Fig.）番号を記す．

4）表の上段に表（Table）番号を記す．

5）注解は別紙にまとめて記す．

6）図表を挿入する箇所は，本文中の右欄外の余白に，図(Fig.)番号，表(Table)番号を赤で記して明示する．

7．引用文献

1）引用文献は本文中の該当箇所の右肩に記載順に従って番号を片括弧で記入し，本文の最後に番号順に列挙する.本文中に引用する場合は，次のように記入する．

例１）和文原稿

Presented by Medical*Online

著者１名の場合　　山田[1)]　Davis[2)],
著者２名以上の場合　山本ら[1)]　Behringら[2)]のように記入する.

例２）英文原稿
著者１名の場合　　Davis[1)], Sato[2)],
著者２名以上の場合　Kawasaki et al.[1)]　Wong et al.[2)]のように記入する.

２）出版が確認されたもの以外（未公刊のdata）は文献として引用しない.
本文中に（unpublished data, 未発表）または（personal communication, 私信）と記す．受理され印刷中の文献は採用し（印刷中, in press）と記す.

３）引用文献は必要最小限にとどめる.

４）刊行物の誌名は次のように記す.
①和文誌はすべてフル誌名で記す.
②欧文誌は「Index Medicus」に従い略誌名で記す.

５）英文の論文における日本語の文献には（in Japanese）の記載をする.

６）文献リストにおける著者，表題，書籍名などの配列順序
①定期刊行書（雑誌）の場合は次のように記す.
著者氏名. 論題. 誌名 出版西暦年; 巻数: 始頁–終頁.
・著者名は６名まで記載する．６人を越える場合は最初の６人を記載し，その他を和文論文は「ほか.」，欧文論文は「et al.」と略す.
・雑誌の巻数にはアンダーラインを引く.
・雑誌の号数は通し頁の場合は不要だが，号ごとに頁づけをしている場合には巻の後に（　）を付けて記載する．別冊 増刊 Supplementを記入するときは巻の直後に（　）を付けて記す.
・同名雑誌が連続する場合でもその都度誌名を記し，後続誌をibidem, ibidなどで省略しない.

例１）和文誌
若林一郎. 血管壁細胞および血小板における細胞内アルカリ化と情報伝達. 兵庫医科大学医学会雑誌 2007; **32:** 53-7.

例２）欧文誌
Oku Y, Masumiya H, Okada Y. Postnatal developmental changes in activation profiles of the respiratory neuronal network in the rat ventral medulla. J Physiol 2007; **585:** 175-86.

例３）補冊の場合
吉田千佳子, 合田亜希子, 増山理. 心不全(上) 最新の基礎・臨床研究の進歩, 心エコー法・ドプラ法. 日本臨牀 2007; **65**(増刊4): 387-91.

例４）通し頁がない場合
飯島尋子. ソナゾイドによる造影技術の基礎 ソナゾイドの投与法, 装置・撮像条件, 時相. Innervision 2007; **22**(10): 8-10.

例５）英文の論文における日本語の文献
誌名はIndex Medicusに準じ，ローマ字(ヘボン式)に直したものを使用する．異誌名の略(Jpn.J.Clin.Med.)はローマ字(ヘボン式)に直した誌名の後に(　)して記す.
Tomita N. Hereditary colorectal cancer. Hyogo Ika Daigaku Igakkai Zasshi（Acta Med Hyogo）2007; 33: 83-5. In Japanese.

②単行書，分冊刊行書の場合は次のように記す.
著者氏名. 論題. 編集者. 書名(巻). (版数). 発行地: 発行所, 出版年: 始頁–終頁.
・上(中下)などを記入するときは書名の直後に記す.

例１）著者が個人の場合
西口修平. 肝硬変のマネジメント. 大阪: 医薬ジャーナル社, 2007.

例２）単行本の中の１章を引用する場合
・筒井ひろ子, 中西憲司. 宿主と病原体の攻防. 木本雅夫, 阪口薫雄, 山下優毅 編. 免疫学コア講義. 改訂第2版. 東京: 南山堂, 2007: 149-66.
・Sasako M. Total gastrectomy with radical systemic lymphadenectomy（Japanese procedure）. In: Clavien PA, Sarr MG, Fong Y, Georgiev P eds. Atlas of upper gastrointestinal and hepato-pancreato-biliary surgery. 1st ed. Berlin: Springer-Verlag, 2007: 179-88.

例３）受理された印刷中の文献を引用する場合
Mishiro Y, Sakagami M, Kitahara T, Kondoh K, Okumura S. Investigation of cholesteatoma

Presented by Medical*Online

recurrence rate using Kaplan-Meier survival analysis. Otol Neurotol. In press.

例４）会議の発表論文を引用する場合

越久仁敬. 呼吸調節の基礎と病態生理（抄録）. 日本呼吸器学会雑誌 2007; **45**(増刊): 81.

③インターネット上の情報の場合は次のように記す.

例１）電子ジャーナルの論文の場合

著者氏名. 論題. 誌名 出版西暦年; 巻数: 始頁－終頁. 入手先,（入手日付）

・内田和孝 ほか. 神経画像アトラス術後に一過性脳梁膨大部病変を呈した脳動静脈奇形の1例. BRAIN and NERVE 2013; 65: 212-213. https://webview.isho.jp/journal/detail/pdf/10.11477/mf.1416101422（参照 2021-10-25）

・Enomoto H. et al. The transition in the etiologies of hepatocellular carcinoma-complicated liver cirrhosis in a nationwide survey of Japan. J Gastroenterol 2021; 56: 158-167. https://link.springer.com/content/pdf/10.1007/s00535-020-01748-x.pdf(accessed 2021-10-25)

例２）ウェブサイト内の記事の場合

著者氏名. “ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称.入手先,（入手日付）

・兵庫医科大学医学会. “編集規定・投稿規程について”. 兵庫医科大学医学会. https://www.hyo-med.ac.jp/department/mshcm/henshu.html.(参照2021-10-25)

C．校　正

１．校正原稿の変更は発刊を遅滞させるので極力避けられたい.

２．校正は投稿者の責任において行う.

D．別刷費

詳細は医学会事務局まで問い合わせること.

E．投稿および問い合わせ先

兵庫医科大学医学会事務局

〒663-8501

兵庫県西宮市武庫川町1－1

兵庫医科大学　大学事務部学術情報課内

TEL. 0798-45-6288　　FAX. 0798-48-8045　　E-mail: igakkai@hyo-med.ac.jp

兵庫医科大学医学会では，本誌掲載著作物の複写複製および転載複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会(JAC)に委託しています．本誌に掲載されている著作物の複写・転載をご希望の方は，学術著作権協会(https://www.jaacc.org/)が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請ください.

Presented by Medical*Online